

産業廃棄物等に関する調査票(令和5年度実績)【その1】

形式2

山形県

建設業

調 査 票 番 号

右記の＜記入注意事項＞をご確認の上、調査票に記入してください。

事業所の概要	事業所名						
	所在地						
	代表者(事業所長)氏名				記入者 ( <small>ふりがな</small> 部課、氏名)		
	記入年月日	令和6年	月	日	電話番号	-	-

次へ

県内元請工事の有無

貴社が元請施工者として請負い令和5年度に完成した山形県内の工事はありますか（出来高工事を含む）。該当する番号に○を付けてください。

1. 元請工事あり

2. 元請工事なし

次へ

上記の「事業所の概要」を記入し、別添「廃棄物に関する意識調査」に回答の上、ご返送ください。

工事実績	元請完成工事高（令和5年度、消費税を含む）									
	貴社が元請施工者として請負い令和5年度に完成した山形県内工事の年間元請完成工事高(出来高工事含む)を記入してください。									
	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万		※共同企業体（J.V）による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請完成工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入してください。
									万円/年	

次へ

令和5年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。該当する番号に○を付けてください。  
※自ら再生利用した物、有償等あるいは無償で引き渡した副産物も対象としてください。

1. 発生した。

2. 発生しなかった。

次へ

上記の「事業所の概要」「工事実績」を記入し、別添「廃棄物に関する意識調査」に回答の上、ご返送ください。

裏面の調査票【その2】に貴事業所から発生した産業廃棄物等の状況について記入してください。

裏面へ

＜記入注意事項＞

1. 全般的事項

○本調査は、山形県内において事業活動によって発生した産業廃棄物、特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡した副産物が対象となります。

○本調査の対象期間は、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の1年間です。

○裏面の調査票【その2】には、貴社が山形県内で施工した全ての元請工事（出来高工事含む）から発生する産業廃棄物、副産物について記入してください。共同企業体（J.V）による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請完成工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入してください。

○産業廃棄物等が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票【その1】の「事業所の概要」欄を記入し、別添「廃棄物に関する意識調査」に回答の上、ご返送ください。

○調査票の電子データは、株式会社グリーンエコのホームページからダウンロードできます。

<https://www.gr-eco.co.jp/yamagata-sp/DL.html>

○調査票の回答は、同封の返信用封筒または電子メール（yamagata-sp@gr-eco.co.jp）をご利用ください。また、Webでも調査に回答いただけます。上記URLからweb調査のバナーをクリックしてください。なお、Webでご回答の場合は、依頼文に記載のIDとパスワードが必要となります。

○調査票の記入方法についてのお問い合わせは、下記の調査受託業者へお願いします。

調査受託業者：株式会社グリーンエコ（0120-010-155）

2. 調査票【その1】

○元請完成工事高は、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入してください。

①自社で発生した廃棄物等の名称  
貴事業所で日常使用している名称で記入してください。（別紙「廃棄物等分類表」に示した具体例を参照）  
同じ種類の廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違う場合は、行を分けて記入してください。

②廃棄物等の分類番号  
別紙「廃棄物等分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入してください。

③年間の発生量（中間処理する前の量）  
各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入してください。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

④自社での中間処理方法  
自社で中間処理した場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑤中間処理後の量  
中間処理後の残さ量を記入してください。  
なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

⑥処理・処分の方法  
発生（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名称等  
処理・処分（⑥に該当する）等を行った先の名称を記入してください。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地  
処理・処分（⑦に該当する）等を行った施設のある所在地を記入してください。

⑨委託中間処理の方法  
⑥の「処理・処分の方法」で「U1」（中間処理を委託）と回答された場合は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分の方法  
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その番号を○で囲んでください。  
  
1. 再生利用・リサイクルしている。  
2. 埋立処分している。

⑪資源化の用途  
⑥の「処理・処分の方法」で「V1,V2,W1,X1,R6」又は前問⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入してください。

自社で発生した廃棄物等の発生量														
区分		①廃棄物等の名称	②分類番号	③年間発生量										
	行番			百 万	十 万	万	千	百	十	一	単位			
記入欄	1									kg m <sup>3</sup>	→			
	2									kg m <sup>3</sup>	→			
	3									kg m <sup>3</sup>	→			
	4									kg m <sup>3</sup>	→			
	5									kg m <sup>3</sup>	→			
	6									kg m <sup>3</sup>	→			
	7									kg m <sup>3</sup>	→			
	8									kg m <sup>3</sup>	→			
	9									kg m <sup>3</sup>	→			
	10									kg m <sup>3</sup>	→			
	11									kg m <sup>3</sup>	→			
	12									kg m <sup>3</sup>	→			
	13									kg m <sup>3</sup>	→			
	14									kg m <sup>3</sup>	→			
	15									kg m <sup>3</sup>	→			

自社での中間処理														
④方法記号			⑤中間処理後量											
1次 処理	2次 処理	3次 処理	百 万	十 万	万	千	百	十	一	単位				
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			
										kg m <sup>3</sup>	→			

自社処分・自社再利用、委託処理										委託中間処理			自社・委託での資源化	
⑥ 処理・処 分の方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称					⑧処理・処分先又は 再生利用先の所在地				⑨方法記号			⑩ 処理後 の処分 方法	⑪資源化用途
										1次 処理	2次 処理	3次 処理		
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	
						都道府県 市区町村							1・2	

④中間処理方法コード表  
A：焼却 J：溶融 R：オートクレーブ  
B：脱水 K：切断 S：薬物消毒  
C：天日乾燥 L：焼成 T：金属(鉄)回収  
D：機械乾燥 (セメント原材料) U：非鉄金属回収  
E：油水分離 M：堆肥化(発酵) V：濃縮  
F：中和 N：銀回収 W：油化  
G：破砕 O：コンクリート固型化 X：混合  
H：分級 P：乾熱滅菌 Y：分別・選別  
I：圧縮 Q：減容固化 Z：その他  
  
具体的に ↓

⑥処理・処分方法コード表  
＜自己処理＞  
V1：自社で再利用した。  
V2：売却できないものを自社で再利用した。  
W1：売却（利益があった）した。  
Z1：自社で保管している。  
Q1：自社の処分場で埋立処分した。  
  
＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞  
U1：処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。  
X1：廃品回収（資源）業者、納入業者、関連企業等で再生処理をした。  
S1：処理業者の処分場で直接埋立処理した。  
T1：処理業者で直接海洋投入した。

⑥処理・処分方法コード表  
＜市町村・一部事務組合へ委託処理(ごみ収集を含む)＞  
R1：市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。  
R5：市町村等が設置する焼却場へ搬入した。  
R6：市町村等が設置するリサイクル施設に搬入した。  
  
＜その他＞  
Z9：その他  
  
具体的に

⑨委託中間処理方法コード表  
A：焼却 J：溶融 R：オートクレーブ  
B：脱水 K：切断 S：薬物消毒  
C：天日乾燥 L：焼成 T：金属(鉄)回収  
D：機械乾燥 (セメント原材料) U：非鉄金属回収  
E：油水分離 M：堆肥化(発酵) V：濃縮  
F：中和 N：銀回収 W：油化  
G：破砕 O：コンクリート固型化 X：混合  
H：分級 P：乾熱滅菌 Y：分別・選別  
I：圧縮 Q：減容固化 Z：その他  
  
具体的に ↓

⑪資源化用途コード表  
10：鉄鋼原料 70：ガラス原材料  
20：非鉄金属等原材料 80：プラスチック原材料  
30：燃料 81：再生タイヤ  
31：木炭 90：セメント原材料  
41：飼料 91：再生油・再生溶剤  
42：肥料・堆肥 92：中和剤  
43：土壌改良材 93：高炉還元剤・  
50：土木・建設資材 コークス炉化学原料  
51：再生木材・合板 98：その他  
60：パルプ・紙原材料  
  
10～93に該当するものがない場合、  
⑪の枠中に具体的な用途を直接記入してください。